

# 2026 年度事業計画概要

(2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

新材料及びこれに関連する科学技術分野における助成事業（**公益事業 1**）及び科学技術啓蒙事業（**公益事業 2**）を実施する。

## 公益事業 1

### 1. 研究助成

#### 1-1. 研究助成

新材料及びこれに関連する科学技術分野で、新規材料開発の基礎並びに応用を指向する独創性の高い研究を対象とし、大学等に常勤する 45 才未満の研究者に対して研究助成を行う。

##### (1) 2026 年度（第 38 回）研究助成の実施

2026 年 3 月の第 87 回（公益認定後第 40 回）理事会で承認・決定した 15 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件あたり 2,000 千円、総額 30,000 千円。

##### (2) 2027 年度（第 39 回）研究助成の公募

公募期間は 2026 年 8 月 1 日から 9 月 18 日。選考委員による書類審査を経て、2026 年 11 月 26 日の選考委員会において候補者を選出する。

#### 1-2. スタートアップ助成

上記 1-1. 研究助成の対象者のうち、学位取得後 10 年以内及び現在のポジションに就いて 3 年以内の研究者に対して研究助成を行う。

##### (1) 2026 年度（第 6 回）スタートアップ助成の実施

2026 年 3 月の第 87 回（公益認定後第 40 回）理事会で承認・決定した 15 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件あたり 1,000 千円、総額 15,000 千円。

##### (2) 2027 年度（第 7 回）スタートアップ助成の公募

公募期間は 2026 年 8 月 1 日から 9 月 18 日。選考委員による書類審査を経て、2026 年 11 月 26 日の選考委員会において候補者を選出する。

#### 1-3. 発展研究助成

上記 1-1. 研究助成の直近の助成修了者を対象とし、当該研究助成の発展・展開が期待される研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2026 年度（第 7 回）発展研究助成の実施

2026 年 3 月の第 87 回理事会（公益認定後第 40 回）で承認・決定した 2 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件 5,000 千円、総額 10,000 千円。

(2) 2027 年度（第 8 回）発展研究助成の選考

2025 年度研究助成の終了者（13 名）が対象。2026 年 11 月 26 日の選考委員会において候補者を選出し、2027 年 3 月の理事会で承認・決定する。

## 2. 国際交流助成

海外で開催される、新材料及びこれに関連する科学技術分野における国際会議への参加に対して費用の一部を助成する。

(1) 2026 年度（第 39 回）国際交流助成の実施

選考委員による審査選考にて選出し、2026 年 5 月の第 88 回理事会（公益認定後第 41 回）で承認・決定する 20 名に助成金を贈呈する。助成額は最高 500 千円、総額 9,000 千円。

(2) 2027 年度（第 40 回）国際交流助成の公募

公募期間は 2026 年 2 月 1 日から 3 月 19 日。選考委員による書類審査を経て候補者を選出する。

## 3. 国際シンポジウム助成

国内で開催される、新材料及びこれに関連する科学技術分野における国際シンポジウムに対して費用の一部を助成する。

(1) 2026 年度（第 37 回）国際シンポジウム助成の実施

2026 年 3 月の第 87 回（公益認定後第 40 回）理事会で承認・決定した 10 件について、助成金を贈呈する。助成額は 1 件 300 千円、総額 3,000 千円。

(2) 2027 年度（第 38 回）国際シンポジウム助成の公募

公募期間は 2026 年 8 月 1 日から 9 月 18 日。選考委員による書類審査を経て、2026 年 11 月 26 日の選考委員会において候補を選出する。

## 4. 研究成果報告会

2026 年 11 月 26 日～11 月 27 日、(株) トクヤマ 徳山製造所において、2025 年度の研究助成者、スタートアップ助成者および 2024 年度の発展研究助成者による第 29 回研究成果報告会を開催する。

## **公益事業 2**

### **科学技術啓蒙助成**

将来を担う世代を対象とした科学技術の普及啓発事業に対して助成する。

(1) おもしろワクワク化学の世界展

青少年を対象に（公社）日本化学会中国四国支部が主催する演示実験会「おもしろワクワク化学の世界展」に対して助成する。助成額は 2,000 千円。

(2) 少年少女発明クラブ

（一社）山口県発明協会等が支援する少年少女発明クラブに対して助成する。  
助成額は 1 クラブ 50 千円、7 クラブ、総額 350 千円。

## 2026年度（第38回）研究助成

（15件、総額30,000千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	安達洋平	34	助教	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	劇的な色変化と発光波長制御を両立する金属フリー刺激応答性材料の創製	2,000
2	伊田翔平	42	講師	滋賀県立大学 工学部	相分離ゲル：マイクロスケールの内部構造制御に基づく機能創出	2,000
3	宇部達	42	准教授	静岡大学 工学部	ポリアミドを主鎖骨格とする高分子光運動材料の開発	2,000
4	王超	44	准教授	金沢大学 医薬保健研究域	ラジカル反応の活用に基づく元素置換型機能性分子の創製	2,000
5	小河重三郎	44	准教授	東京農業大学 生物産業学部	天然色素由来光沢性結晶の創製と機能制御に関する研究	2,000
6	北折暁	31	助教	東京大学 先端科学技術研究センター	室温動作する「第三の磁性体」オルタマグネット金属の開拓	2,000
7	鈴木弘嗣	37	助教	福井大学 テニユアトラック推進本部	次世代機能性材料の創製を切り拓く $\alpha$ -第四級カルボン酸の新規合成戦略	2,000
8	鈴木祥仁	39	准教授	大阪公立大学 大学院工学研究科	宇宙への熱放射材料を志向したトポケミカル重合ポリアセチレンの部分溶解誘起秩序制御と量子効果	2,000
9	高田健司	37	准教授 (テニユアトラック)	山形大学 大学院有機材料システム研究科	桂皮酸ポリマーの自己組織化誘起による光応答メカニズムの解明と制御	2,000
10	千歳洋平	33	助教	九州大学 大学院工学研究院	ねじれ共役構造が拓く新学理と次世代有機発光デバイスへの展開	2,000
11	内藤瑞	39	講師	東京理科大学 先進工学部	環境負荷低減を目指した海洋分解性プラスチックの開発	2,000
12	藤原正澄	44	教授	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域	窒素制御ナノグラフェンからの超高品質ナノダイヤモンド創製	2,000
13	村井征史	44	准教授	名古屋大学 大学院理学研究科	グアニン四重鎖の検出と変性を可能にする新規 $\pi$ 共役系分子の開発	2,000
14	横山悠子	41	助教	京都大学 大学院工学研究科	電解液設計の新基軸確立に向けた泳動効果の解析	2,000
15	吉松公平	41	准教授	東京科学大学 物質理工学院	新規薄膜合成法による次世代酸化化物パワー半導体の単結晶薄膜化	2,000

## 2025年度（第5回）スタートアップ助成

(15件、総額 15,000千円)

(五十音順)

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 (千円)
1	伊豆仁	35	助教	京都大学 化学研究所 附属 元素科学国際研究セン ター	電解二酸化炭素還元による炭化水素生成を 志向した金属-硫黄クラスター修飾電極触媒 の創出	1,000
2	小林真子	32	助教	東北大学 大学院工学研究 科 材料システム工学専 攻	昆虫外骨格に学ぶ表面硬化型軟質ゲル3Dプ リンティング技術	1,000
3	齊藤馨	28	助教	東京科学大学 理学院 化学 系	構造解析による超イオン伝導性新物質の伝 導メカニズム解明	1,000
4	高橋慎太郎	32	助教	学習院大学 理学部 化学科	高配位スズ化合物を触媒とする二酸化炭素 の変換反応の探索	1,000
5	竹山知志	30	助教	山陽小野田市立山口東京 理科大学 工学部 応用化学 科	セルロース分解助触媒として機能する金属 錯体-高分子ハイブリット材料の創製	1,000
6	槌谷賢太	33	助教	北海道大学 大学院歯学研 究院	マテリアルズインフォマティクスを核とす る次世代型歯科用カルシウムシリケート系 シーラーの創出	1,000
7	中谷勇希	29	助教	大阪大学 大学院工学研究 科 附属フューチャーイノ ベーションセンター	合金粒子のサイズ精密制御による触媒の高 耐久化	1,000
8	濱地智之	29	助教 (特定プロ ジェクト)	九州大学 先端物質化学研 究所 ソフトマテリアル部 門	光励起三重項の生成を精密に制御する感圧 ソフトマテリアルの創製	1,000
9	張本尚	28	助教	分子科学研究所 生命・錯 体分子科学研究領域 錯体 物性研究部門	ドナー・アクセプター型3D有機結晶の創出	1,000
10	宮本昂明	36	講師	東京科学大学 総合研究 院、生体材料工学研究所	植物の細胞バリアをすり抜ける環状ペプチ ドポリマーの創製と物資送達への応用	1,000
11	山崎友香理	31	助教	東京大学 大学院工学系研 究科 化学システム工学専 攻	低融点金属を活用した新規合金触媒の開発	1,000
12	山本結生	31	助教	山梨大学 大学院総合研究 部 工学域 物質科学系	Brønsted酸応答/可逆的凝集誘起発光性マ ルチカラー水溶性蛍光材料の創生	1,000
13	山脇大昇	30	特任研究員	大阪大学 大学院理学研究 科 高分子科学専攻	主骨格の抜本的再設計に基づく新規イオウ シリコン材料の創成	1,000
14	吉田真也	29	助教	名古屋大学 大学院工学研 究科 有機・高分子化学専 攻	ラダー型ポリマーの超分子ホスト分子とし ての機能開拓	1,000
15	渡邊康平	35	准教授	千葉大学 教育学部 理科教 育講座	環境問題に切り込む平面カチオン分子の開 発	1,000

## 2026年度（第7回） 発展研究助成

（2件、総額 10,000 千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	高石和人	45	准教授	岡山大学 学術研究院環境 生命自然科学学域	軸性キラル高機能円偏光発光色素の合成	5,000
2	土戸良高	38	講師	東京理科大学 理学部第一 部	ナノフープを基盤した分子変換化学の開拓	5,000

# 2026年度（第39回）国際交流助成

（20件、総額8,900千円）

（五十音順）

No.	氏名	年齢	職位	所属 (申請時)	会議名（機関・場所）	研究題目	助成額 (千円)
1	荻原 直希	36	准教授	九州大学 中央分析センター	第250回電気化学会国際会議（2026/10/25-2026/10/29）、 アルバータ州・カルガリー[カナダ・西部]	多孔性金属錯体の複合化と構造変容による機能・物性の制御	400
2	木村 謙斗	33	助教	東京農工大学 大学院工学研究院	第19回高分子電解質国際会議（2026/06/01-2026/06/05）、サン・セバスティアン[スペイン]	構造/ダイナミクス/機能相関の解明にもとづく次世代固体高分子電解質の開発	450
3	小島 知也	27	特任助教	東京農工大学 大学院工学研究院	ポルドーポリマー会議2026（2026/06/01-2026/06/04）、ポルドー[フランス]	インスリン保護機能を有する光応答性コアセルベート液滴	450
4	小松 啓志	30	助教	長岡技術科学大学 工学部	16th International Ceramics Congress (CIMTEC)(2026/06/15-2026/06/19)、ペルージャ[イタリア]	Optical Gas Sensing Using Terahertz Time-Domain Spectroscopy with porous ceramics	450
5	小山 政俊	33	准教授	大阪工業大学 工学部	The 23rd International Sol-Gel Conference（2026/08/31-2026/09/04）、リスボン[ポルトガル]	深紫外線光検出器を目指した化学溶液堆積法によるGa <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 薄膜の構造的・光学的特性	450
6	櫻井 庸明	34	准教授	京都工芸繊維大学 分子化学系	第7回凝集誘起発光に関する国際会議（2026/08/26-2026/08/28）、ピサ[イタリア]	分子分散および分子凝集状態の両状態で強く発光する有機発光体の合理的設計開発	450
7	佐々木 由比	34	講師	東京大学 先端科学技術研究センター	大環状および超分子化学国際シンポジウム2026（2026/07/05-2026/07/10）、ポルドー[フランス]	固液界面における架橋型および非架橋型エキノ認識：有機トランジスタセンサを用いた金属イオン認識	450
8	許 健	42	助教	京都大学 大学院地球環境学	7 <sup>th</sup> International Conference on Rare Earth Materials (REMAT 2026)(2026/11/03-2026/11/06)、パレルモ[イタリア]	圧力・温度センシング用ユウロピウム二価賦活ハフネートペロブスカイト	450
9	唐 超	42	助教	東北大学 学際科学フロンティア研究所	モバイル化・小型化テラヘルツシステム国際コンファレンス（2026/07/19-2026/07/22）、スクワーズ[南アフリカ共和国]	グラフェン/黒リンヘテロ構造におけるポロメトリックおよびプラズモン共鳴テラヘルツ検出のためのバンドアライメント	500
10	張 鋭聖	29	助教	東京科学大学 総合研究院	World Tribology Congress (WTC 2026) 第8回世界トライボロジー会議(2026/09/20-2026/09/25)、リオデジャネイロ[ブラジル]	FCVA法で作製した二元素含有DLC膜の高温トライボロジー特性の向上	450
11	津留崎 陽大	37	准教授	大阪公立大学 大学院理学研究科	25th International Conference on Phosphorus Chemistry（2026/07/05-2026/07/08）、モンペリエ[フランス]	金(I)触媒分子内環化反応によるホスファベンゾヘプタレン誘導体の合成およびその性質	450
12	ナム ヒョンウク	40	助教	東京理科大学 創域理工学部	2026年 IEEE 強誘電体応用国際シンポジウム（2026/07/06-2026/07/10）、ケベック州・モントリオール[カナダ・東部]	添加物およびエージング処理によるBa(Zr,Ti)O <sub>3</sub> -(Ba,Ca)TiO <sub>3</sub> 系セラミックスのハイパワー圧電特性の最適化	450
13	福嶋 宏之	30	助教	福井工業高等専門学校 電気電子工学科	非酸化ガラス&新規光学ガラス国際会議 2026（2026/06/14-2026/06/17）、コペンハーゲン[デンマーク]	金添加ナトリウムアルミノリン酸塩ガラスのラジオフォトルミネッセンス特性	450
14	藤崎 貴也	36	助教	島根大学 材料工ネルギー学部	4th Annual CEMDI-PAIMS Symposium（2026/07/28-2026/07/31）、ケベック州・モントリオール[カナダ・東部]	機械学習および第一原理計算によるハイエントロピープロトン伝導性ペロブスカイト酸化物の原子配置	450
15	松永 航	32	助教	京都大学 大学院工学研究科	第36回ダイヤモンドおよび炭素材料国際会議（2026/08/30-2026/09/03）、サン・セバスティアン[スペイン]	ナノ表面層によるマイクログラフアイトの曲げ変形制御	450
16	三宅 浩史	33	助教	大阪大学 基礎工学研究科	10th Conference of the Federation of European Zeolite Associations (FEZA 2026)（2026/06/28-2026/07/02）、ナポリ[イタリア]	LEWIS ACIDIC SN-BETA ZEOLITES FOR PRODUCING LIGHT OLEFINS IN LOW-DENSITY POLYETHYLENE CRACKING	450
17	余 唯	35	助教	東北大学 学際科学フロンティア研究所	国際電気化学会 第42回トピカルミーティング（2026/06/23-2026/06/26）、ヘルシンキ[フィンランド]	Carbon Honeycomb Cathodes with Xylem-Like Structures for Lithium-Oxygen Batteries	450
18	吉田 純	44	准教授	日本大学 文理学部	国際液晶学会（2026/06/21-2026/06/26）、ケベック州・ケベックシティ[カナダ・東部]	パラッハ則の液晶への拡張：ラセミ体および擬ラセミ体からなる八面体型錯体液晶	450
19	Yospanya Wijk	33	助教	東北大学 材料科学高等研究所	キラリティ・アット・ザ・ナノスケール2026国際会議（2026/09/20-2026/09/24）、リバリ島[イタリア]	メソスコピック構造から低分子へのキラリティ情報の転写	450
20	呉 志豪	38	助教	東北大学 金属材料研究所	第12回環太平洋先端材料とプロセス国際会議（2026/08/09-2026/08/13）、ゴールドコースト[オーストラリア]	β異形元素の最適化：3Dプリントチタン合金の優れた機械加工性への道筋	350

# 2026年度（第37回）国際シンポジウム助成

（10件、総額3,000千円）

（開催日順）

No	会議名称	開催期間・場所	主催団体名	組織/実行委員長	参加者（人）			助成額 （千円）
					国内	海外	合計	
1	8th Fluorine Days 2026 （NFD-8）	2026/05/17-05/22 名古屋工業大学（名古屋）	第8回Fluorine Days 2026組織委員会	組織委員長 名古屋工業大学 教授 柴田哲男	75	45	120	300
2	第14回アジア・オセアニア光化学 国際会議（APC2026）	2026/09/04-09/08 神戸商工会議所会館 （神戸市）	アジア・オセアニア 光化学協会	実行委員長 奈良先端科学技術大学 院大学 教授 河井壯	200	100	300	300
3	第11回 光学・オプトエレクトロニクス・フォトニック材料とその応用に関する国際会議 （ICOOPMA2026）	2026/09/16-09/21 アクティシティ浜松 コンgresセンター （浜松市）	ICOOPMA2026実行 委員会	実行委員長 静岡大学 教授 青木徹	150	100	250	300
4	第15回 重元素化学・物理における 相対論効果に関する国際会議	2026/09/28-10/02 岡崎コンファレンス センター（岡崎市）	第15回重元素化学・ 物理における相対論 効果に関する国際学 会, 分子科学研究所	実行委員長 東京農工大学 准教授 阿部穰里	30	65	95	300
5	2026年アジアパシフィックEPR- 電子スピンスイエンズ学会合同会 議	2026/10/18-10/22 埼玉会館（さいたま 市）	一般社団法人電子ス ピンスイエンズ学会 & アジアパシフィッ クEPR/ESR学会	実行委員長 埼玉大学 准教授 前田公憲	170	50	220	300
6	窒化物半導体国際ワークショップ 2026	2026/11/08-11/13 熊本城ホール（熊本 市）	日本結晶成長学会	組織委員長 三重大学 教授 三宅秀人	650	550	1200	300
7	第16回国際有機化学京都会議	2026/11/16-11/19 リーガロイヤルホテ ル京都（京都市）	近畿化学協会	組織委員長 大阪大学 教授 南方聖司	600	150	750	300
8	第12回アジア最先端有機化学ジュ ニア国際会議	2026/11/22- 2026/11/24 京都大学桂キャンパ ス（京都市）	京都大学大学院工学 研究科	組織委員長 京都大学 教授 中尾佳亮	20	40	60	300
9	第19回先進プラズマ科学と窒化物 及びナノ材料への応用に関する国 際シンポジウム/第20回プラズマ ナノ科学技術国際会議	2027/03/02-03/06 名古屋大学（名古屋 市）	公益社団法人応用物 理学会	組織委員会 委員長 名古屋大学 教授 石川健治	250	200	450	300
10	第25回日韓台強相関電子系シン ポジウム	2027/03/12-03/14 東京大学物性研究所 （柏市）	日韓台強相関電子系 シンポジウム運営委 員会	運営組織委員 東京大学 教授 岡本佳比古	60	60	120	300

## 2026 年度 科学技術啓蒙助成

事業名称	おもしろワクワク化学の世界 '26 広島化学展
助成額	2,000 千円
主催	公益社団法人 日本化学会中国四国支部
共催	公益財団法人 徳山科学技術振興財団
後援	広島県教育委員会, 広島市教育委員会, 東広島市教育委員会, 広島県高等学校教育研究会理科部会物化部, 広島大学ほか (いずれも予定)
大会委員長	安倍 学 (広島大学 教授、2026 年度日本化学会中国四国支部長)
実行委員長	井上克也 (広島大学 教授)
実行委員	主に広島大学理学部化学科・工学部第三類・総合科学部化学系の教員
開催期間	2026 年 7 月 31 日 (金) ~ 8 月 2 日 (日) 3 日間
場所	合人社ウエンディひと・まちプラザ (広島市まちづくり市民交流プラザ)
展示ブース	実験ブース数 15~18 ブース程度
参加対象者	小学校児童、中学校・高等学校生徒およびその保護者、一般
事業概要	化学に関するデモンストレーション (演示実験)、体験実験を通して、未来を担う青少年に、化学や化学技術の重要性、面白さや不思議さを伝え夢を与えること、および進路の選択を前にしている高等学校生徒に情報を与えることを目的とする。青少年の素朴な疑問や好奇心を感動につなげる機会を提供すると共に、参加者の化学や化学技術、化学の地球環境保護への貢献に対する認識も刷新したい。

  

事業名称	少年少女発明クラブ
助成額	1 クラブ 50 千円 (7 クラブ合計 350 千円)
主催	(一社) 山口県発明協会、山口県内市町村教育委員会
共催	山口県内市町村、同公共施設、同商工会議所 他
運営組織	各クラブの企画運営委員会
活動期間	2026 年 4 月 1 日~2027 年 3 月 31 日 (1 年間)
場所	山口県内公共施設
参加対象者	小中学生及びその保護者
事業概要	本クラブは、現在全国に 214 のクラブがあり、約 11,000 名の子どもたちが、約 2,800 名の指導員のもと科学的な原理に基づく工作実習、創作活動等の体験学習を行っている。山口県では現在 7 クラブ (下関市、山口市、宇部市、防府市、周南市、柳井市、田布施町) が活動している。本活動は、子どもたちに地域の特徴を生かした創意工夫に基づく創作活動の場を提供し、作品製作や実験を通じて、アイデアを形にする能力と技術を持った創造性豊かな人間形成に寄与することを目的として活動し、有意義な成果が得られている。